

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)

【公開番号】特開 2012-250354 (P2012-250354A)

【公開日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-054

【出願番号】特願 2011-122132 (P2011-122132)

【国際特許分類】

B 4 2 D 25/30 (2014.01)

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

C 0 8 F 2/48 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 15/10 5 0 1 P

C 0 9 D 11/00

C 0 8 F 2/48

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 27 日 (2015.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

粒子 1 a のサイズは、10 ~ 300 μm であることが好ましい。小さすぎると、ルーペなどの簡易な拡大器具を使用して粒子を観察することができず、顕微鏡などのより複雑な装置を使用しないと、真贋判定ができなくなる。また、大きすぎると、拡大器具を使用せずとも肉眼により粒子の特徴を認識可能となり、偽造防止効果が低下する。ここで、サイズとは、粒子を平面視した際の、最長の長さであり、例えば形状が四角形であればその対角線の長さであり、形状が楕円であればその長軸の長さである。

また、図 1 での「D N」の文字は、裸眼では認識できず、ルーペなどを用いて認識できる程度の大きさである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】

